

大和川線対策事務

1) 事業目的

高規格堤防整備事業は、河川の増水による破堤の防止及び越流時の市街地の壊滅的な被害を軽減することを目的とした国の直轄河川事業であり、高規格堤防整備による安全・安心のまちづくりの実現を図ることを目的とする。

2) 事業内容

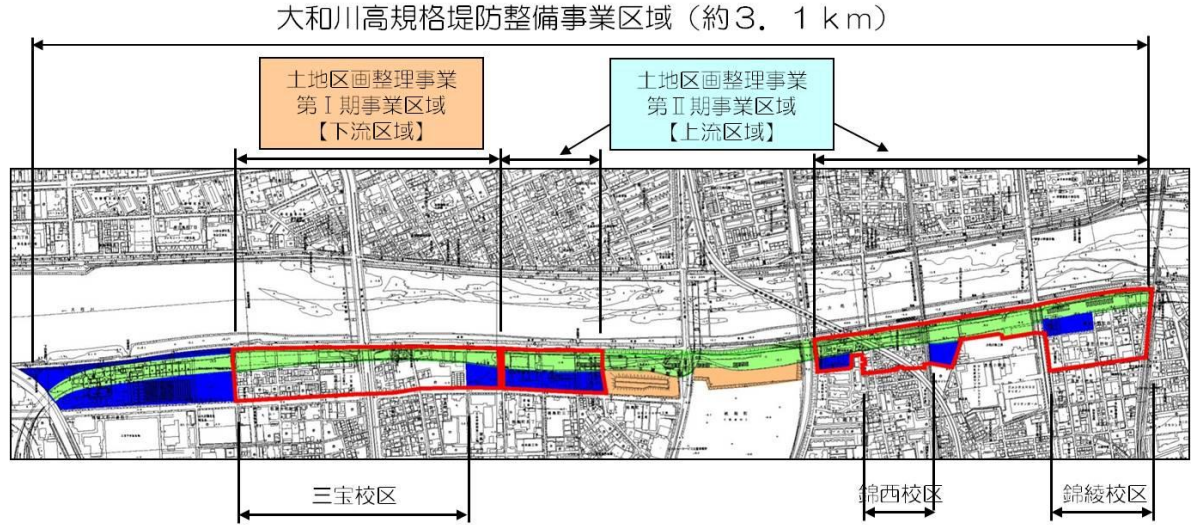
大和川高規格堤防整備事業は、堺市域の阪神高速道路4号湾岸線から南海高野線までの延長約3.1km区間（三宝・錦西・錦綾校区）（図1参照）において、堤防の幅を堤防の高さの約30倍に広げた堤防（図2参照）を整備することにより、本市の洪水ハザードマップに示す浸水区域（図3参照）を飛躍的に解消することができる。

本事業は、阪神高速道路大和川線の整備と併せて行い、このうち市街地については、土地区画整理事業を活用した一体的な整備を行うために、国土交通省大和川河川事務所及び阪神高速道路株式会社と連携し、事業の促進を図る。

3) 土地区画整理事業の事業化に向けた取組

大和川高規格堤防整備事業と土地区画整理事業の一体的な整備として、事業効果の早期発現を図るため、平成27年度の土地区画整理事業の都市計画決定に向けた手続きを進めるとともに、地元合意形成に取り組む。

図1 大和川高規格堤防整備事業区域



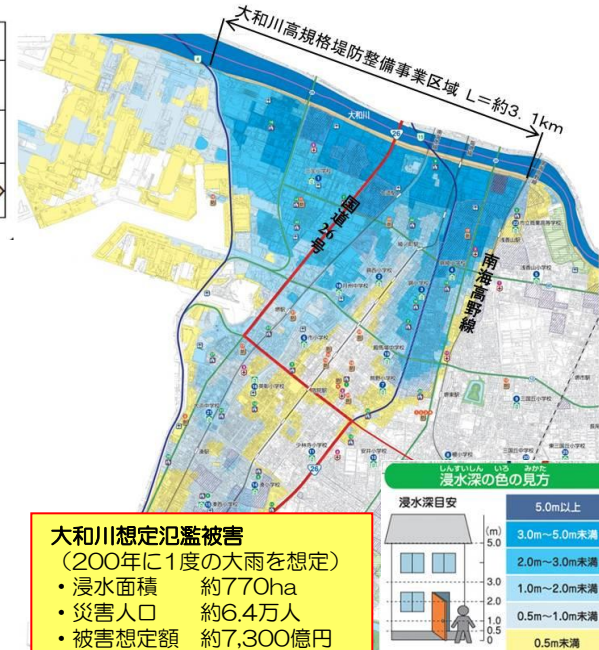
○全体事業スケジュール

事業区域	本格着手	概ね10年後	概ね20年後	概ね30年後
阪高用地 公共用地等	阪高用地、公共用地等 盛土・宅地整備			
第Ⅰ期事業区域 (下流区域)	物件等調査、移転補償説明、契約 盛土・宅地整備、住宅等建設・移転居住			
第Ⅱ期事業区域 (上流区域)		物件等調査、移転補償説明、契約 盛土・宅地整備、住宅等建設・移転居住		

※本スケジュールは、現時点での予定であり、今後、状況により変動する場合があります。

図3 浸水想定区域図

※大和川堤防が決壊した場合、中心市街地まで被害が及ぶことを示している



大和川想定氾濫被害
(200年に1度の大雨を想定)

- ・浸水面積 約770ha
- ・災害人口 約6.4万人
- ・被害想定額 約7,300億円

図2 高規格堤防断面図

